

平成29年度事業計画書

欧米やアジアの情勢など、日本を取り巻く環境はますます不安定となっている。中でもEUやTPP離脱の背景には、これまでリベラル・デモクラシーを支えてきた中間層が衰退し、一部の富裕層と多数の貧困層という格差社会が生じたことがある。大衆の不満はポピュリズムを生み、保護主義への流れがさらに強まっている。一方、国内に目を向けると、2008年以降人口は減少に転じ、経験したことのない超高齢化・超少子化時代へ突入した。

こうした試練を乗り越えていく力は「文化」にある。多様性を享受する日本の精神・文化、寛容の心など、日本が大切にしてきた精神や文化を普及し、世界の安定と平和に貢献する時である。幸い関西には多様な伝統や文化がある。

時あたかも、文化庁の関西移転に向けての実証実験も本格化し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムを全国津々浦々で展開しようという動きも始まった。当協会は設立以来一貫して「文化立都」を掲げ、その行動指針となるグランドデザインを策定してきたが、世界を取り巻く環境、日本の経済・社会情勢も大きく変化する中、設立以来の基本理念、「文化立都」を継承しつつ、2017年を起点とする「第4次グランドデザイン」を策定した。

「連携と協奏を目指す5カ年文化戦略」に事業活動を再編成し、次の事業に取り組むたい。

I 「助成と顕彰」

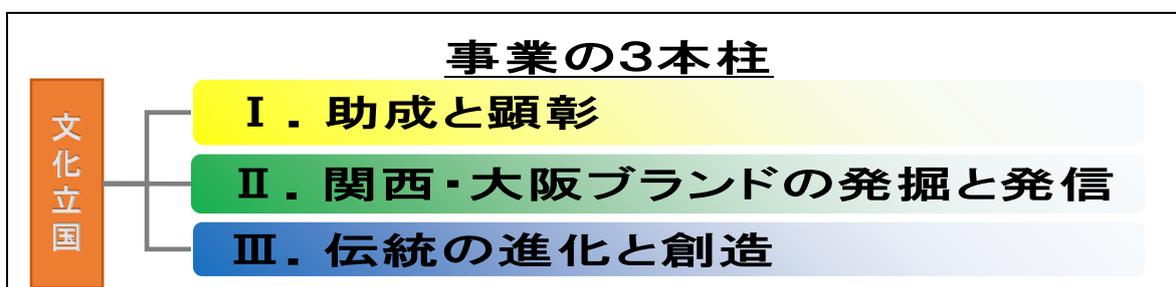
日本万国博覧会記念機構から承継した記念基金事業と、経済団体と協力して設立した民間版の文化支援組織「アーツサポート関西」の交流と助成事業、および「大阪文化祭賞」などの人材育成（アーティスト支援）事業を実施する。

II 「関西・大阪ブランドの発掘と発信」

「大阪ブランド・コミッティ」（2004～2007年）、「はなやか関西」の流れを汲むもので、関西・大阪のポテンシャルや歴史・文化に根ざした地域の魅力を発掘し、発信を目指す。

III 「伝統の進化と創造」

当協会が広域連携の結節点を担い、関係団体とのコラボレーションにより、新たなまちづくりを促進する。これまでの社会実験の成果を踏まえ、「水都・大阪」の推進、「大阪城フェスティバル」構想への取り組み、上方伝統文化の振興、保護・育成を行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい「国際相互理解の促進に資する活動」や「文化的活動」に対して助成金を交付し、人類の進歩と調和に貢献する。

あわせて、大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附金を拠出する。

ア. 助成事業

A. 助成分野

1) 国際相互理解の促進に資する活動

- ・国際文化交流、国際親善に寄与する活動
- ・学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
- ・自然の保護、その他人間環境の保全に関する国際的な活動

2) 文化的活動

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

B. 重点テーマ

- 1) 留学生交流などの「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」
- 2) 文楽などの「日本の伝統文化の伝承及び振興活動」
- 3) 熊本地震被災地での「伝統行事の維持継続及び芸術文化活動」

C. 平成 29 年度 助成活動

- ・平成 28 年度に募集、審査して交付決定した助成対象事業（助成予定総額 9,200 万円）への助成を行う。
- ・助成金交付事業の中から実地調査を行う。
- ・模範的な団体のノウハウ共有と、対外発信の強化を図る。
- ・助成金交付事業の事業完了後、報告書の提出を受け、助成金を交付する。
- ・助成金交付事業者からの報告書及び実地調査の内容を踏まえ、事後評価を行う。

D. 平成 28 年度 助成事業の繰越

平成 28 年度助成事業のうち、事業の完了時期が平成 29 年度となる事業について事業の繰越を行う。

E. 平成 30 年度 万博記念基金助成事業の見直し
助成分野の見直しなどを行い、助成金贈呈式などによる「見える化」を図る。

F. 平成 30 年度 助成対象事業の募集活動

- ・ 募集方法 ホームページへの掲載や関係機関への募集要項送付
- ・ 募集説明会 大阪・東京会場に加え、他の地方での開催も検討。
- ・ 募集時期 平成 29 年 7 月～9 月
- ・ 助成予定総額 約 9,200 万円（国内外事業助成総額）

G. 平成 30 年度 助成対象事業者の選考
審査会の開催

- ・ 開催時期 平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月

H. 平成 30 年度 助成金交付事業者の決定

- ・ 決定時期 平成 30 年 3 月

イ. 大阪府が設置する万博記念公園の管理運営に寄附する事業

- ・ 寄附予定総額 約 1 億 4,900 万円（万博記念基金運用益の 2 分の 1）

2. 「アートサポート関西」(ASK) 事業（公益目的事業 3）

広く民間から寄附を集め、関西、大阪の文化・芸術分野で活動する団体や個人に助成することにより、優れた伝統文化の継承、新しい芸術的価値の創出を進めて関西、大阪の活性化に寄与するとともに、関西、大阪の寄附文化の醸成を図る。

ア. 寄附集め活動

アートサポート関西の意義や寄附を必要とする助成先の声を、広くHPやチラシ等で告知し、個別企業への提案や「ASK 寄附型自販機」の普及、チャリティーイベントの企画・推進などを図り、企業や経営者、個人から広く寄附を集める。

- A. 近く 100 周年等の節目を迎える「周年企業」への提案活動の推進
- B. 「ASK 寄附型自販機」の推進（関西経済同友会と連携）
- C. 「ASK サポーターズクラブ」会員の継続・募集（関西経済同友会と連携）
- D. 「ASK チャリティーイベント」の企画・推進
- E. クレジットカード等の「ポイント寄附」の推進

イ. 助成事業

A. 平成 29 年度 公募助成事業の実施

(1) 一般公募助成

平成 28 年度に募集、審査して交付決定した一般公募助成事業への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

- ・助成総額 300 万円
- ・助成分野 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能
- ・対象者 次の 2 つの条件のいずれも満たす者。
 - ①社会的に広く認知されていないものの、既存の芸術・文化の枠組みを著しく向上させる活動を行う者、もしくはその潜在性を有する個人・団体
 - ②広域関西を拠点に活動する者、もしくは広域関西圏で芸術・文化活動を行う者

(2) 「岩井コスモ証券 ASK 支援寄金」助成

岩井コスモ証券創業 100 周年記念の寄附金 2,000 万円から 400 万円を拠出し、平成 28 年度に募集、審査して交付決定した事業への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

- ・助成総額 400 万円
- ・助成分野 美術・デザイン、音楽、伝統芸能
- ・対象者 国際的に高い水準の芸術・文化活動を行う者もしくはその潜在性を有する者で、広域関西を拠点に活動する 40 歳未満の若手芸術家個人

(3) 「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成

寄附金 300 万円を頂いた寄附者の意向に沿い、能・狂言において青少年への教育普及活動を行う団体に対して、50 万円を助成する。

- ・助成総額 50 万円
- ・助成分野 能楽における青少年を対象にした教育普及活動
- ・対象者 広域関西において上記の活動を行う団体

(4) その他の個別寄金による公募助成

平成 28 年度後半から平成 29 年度に募集、審査して交付決定する事業への助成を平成 29 年度に行う見通し

- ・助成総額 500 万円

B. 平成 29 年度助成事業の実施（継続）

(1) 「岩谷産業文楽支援寄金」助成

平成 28 年度に 500 万円寄附金をいただいた同寄金の 2 年目の助成を、特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座に対して行う。

- ・助成額 250 万円

- (2) 「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」助成
平成26年度に500万円寄附いただいた同寄金による助成を、公益社団法人上方落語協会に対して行う。
- ・助成額 50万円

C. 平成30年度公募助成事業の募集

- (1) 「一般公募助成」事業の募集
- ・募集方法 協会ウェブサイトへの掲載、関係先へのメール等による案内、募集説明会の開催など
 - ・助成予定額 約500万円
 - ・助成分野 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能
 - ・募集期間 平成29年12月～平成30年1月
- (2) 「岩井コスモ証券 ASK 支援寄金」助成事業の募集（2年目）
- ・助成総額 400万円
 - ・助成分野 美術・デザイン、音楽、伝統芸能
 - ・募集期間 平成29年11月～12月
- (3) 「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成事業の募集（2年目）
- ・助成総額 50万円
 - ・助成分野 関西の能楽における青少年を対象にした教育普及活動
 - ・募集期間 平成29年11月～12月
- (4) 「北倶楽部記念寄金」助成事業の募集
- ・助成総額 45万円
 - ・助成分野 美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能
 - ・募集期間 平成29年12月～平成30年1月
- (5) 「ささやか寄金」助成事業の募集
- ・助成額 5万円
 - ・助成分野 美術・デザイン
 - ・募集期間 平成29年12月～平成30年1月
- (6) 「ソフィア寄金」助成事業の募集
- ・助成額 5万円
 - ・助成分野 美術・デザイン
 - ・募集期間 平成29年12月～平成30年1月

D. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会に於いて選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 平成30年1月～2月
- ・運営委員会 平成30年2月（理事会：3月）
- ・助成金交付決定 平成30年3月

ウ. 寄附集めのための寄附文化醸成活動

助成先への見学会なども行い、寄附者・サポーターとアーティストとの交流を図り、寄附文化の醸成を図る。

エ. 広報活動

- (1) 個別寄金の寄附者との共同記者会見の企画・運営
- (2) 募集開始、公募助成先決定等のマスコミ発信
- (3) 当協会や関西財界のイベントに、助成先（アーティスト）の出演機会を設けるべく調整し、経済界と助成先の橋渡しをする。
- (4) 助成事例の紹介や新しい寄附集め方策の提案発表など、絶えず効果的に对外発信を続けることで、躍動する ASK のイメージ形成と関西の寄附文化醸成に努める。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会
(大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

贈 呈 式 平成30年2月～3月

イ. アート・アセンブリー（公益目的事業1、その他事業1）

大阪文化祭賞受賞者やアーツサポート関西の助成を受けたアーティストをはじめ、音楽・芸術分野における優れたアーティストたちを、経営者や有識者、報道関係者等に広く紹介するための発表や交流の場づくりを行う。異分野のアーティストによるコラボレーションを含め、話題性、発信力のある事業を行う。

実施時期 平成29年11月～12月

ウ. アートストリーム2017（公益目的事業1）

公募選考により、さまざまなジャンルの新進気鋭のアーティストやクリエイターを幅広く発掘し、発表の場を設けるとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。

主 催 アートストリーム実行委員会
(大阪芸術大学、大阪府、大阪市、
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成29年秋

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. シンポジウム・フォーラムの開催

ア. 関西・大阪文化力会議（公益目的事業1）

ユネスコ無形文化財に登録され、いまや世界的な広がりを見せている「和食」。しかし、海外の日本食レストランで提供される料理が和食というには程遠いものであったり、国内においても若者を中心とした米離れや伝統的な和食文化の変容が起こるなどなど、和食の危機を提唱する識者もいる。

そこで和食を系統的に整理し、和食文化の継承や普及の方向性を見定め、人類の健康に貢献する和食を世界に発信するため「インターナショナル和食フォーラム（IWF）」を開催し、その成果を食博2017へと繋げる。

実施時期 平成29年4月17日

場 所 国立文楽劇場

2. 関西和食文化のブランディング

ア. 2017食博覧会（公益目的事業1）

関西の食の根幹をなす“昆布だし”の昆布が『北前船』により大坂に運ばれた歴史に鑑み、当協会が提唱した航路上の寄港地の市・町による「北前船寄港地企画」の成功に向け支援する。

主 催 食博覧会実行委員会

共 催 (一社)大阪外食産業協会 (公財) 関西・大阪21世紀協会

実施時期 平成29年4月28日～5月7日

場 所 インテックス大阪

イ. 動画「御食国・関西」の制作とYouTube発信（公益目的事業1）

関西の和食文化を深掘りし、ケーブルテレビとのコラボレーションにより、動画を制作、放送する。放送後は当協会ホームページのコンテンツとして動画を掲載。英訳版字幕スーパーへの取り組みも検討する。

ウ. 「関西釣り文化」のブランディング（公益目的事業1）

日本の漁具や漁法、漁や釣技の多くは関西発であり、その釣り文化や釣魚料理を研究することにより、関西のブランド発掘を行う。

また、ケーブルテレビのマンスリー番組「おとな釣り倶楽部」制作に協力し、その動画を協会のホームページでも配信するとともに機関誌上でも情報発信する。

3. 関西ブランドの発掘と調査・研究

ア. 「なにわ大坂 100 人選」プロジェクト（公益目的事業 1）

古代から近世までの「なにわ大坂」で活躍した 100 人を選定し、時代背景や現代に受け継がれた関連情報を収集し、蓄積を図る。成果は順次ホームページで発表、報告書の出版を目指す。

実施時期 平成 25 年度～29 年度

イ. ミナミ上町台地調査・研究（公益目的事業 1）

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、伝えられてきた催事に触れ、実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティに関する情報を収集する。

実施時期 平成 29 年春から秋にかけて 3 回見学・探訪実施予定

4. 関西ブランドの発信

ア. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業 1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信するブランド情報誌（機関誌）を発行する。公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布（約 1 万部）

発行回数 年 3 回

イ. 関西国際空港での映像発信（公益目的事業 1）

関西の四季折々の魅力（景観やお祭り、季節の風物詩など）や、「和食」を中心に関西の食の魅力収めた、四季の関西ブランド映像集『Welcome to KANSAI ～四季の関西・大阪の魅力～』を 4 作品制作する。

関西国際空港の税関エリア及び入管エリアで上映し、海外から関西を訪れた観光客に関西の魅力を訴求する。あわせて関西エアポート(株)の方針にも沿い大阪空港での上映実現に協力する。

ウ. ホームページ、SNS による発信（公益目的事業 1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動の最新ニュースや動画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

また、「メールマガジン」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントを配信する。

エ. 芸術文化のポータルサイト開設

関西各地の芸術文化情報を発信するウェブサイト『関西文化.com』（関西広域連合、関西元気文化圏推進協議会）をはじめ、さまざまな文化関連サイトとのリンクにより、関西の芸術文化の戦略的な情報発信を推進する。

特に、各地に伝わる祭礼やアールブリュットなどの分野のポータルサイト開設を目指し、文化庁の掲げる「オリンピック・文化プログラム」の目標に対し、関西地区として協力、貢献する。

オ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

5. ネットワークと理解促進

ア. 2lcafe（その他事業1）

関西・大阪等で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

イ. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、メールマガジン等で広く活動を紹介する。

ウ. 協会活動への理解促進（その他事業2）

賛助会員向けに発行する「協会だより」や講演会・交流会を行い、事業のPRや協会活動への理解を深める。

エ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり～オリンピック文化プログラムの推進～

ア. 大阪城フェスティバル 2017（公益目的事業 1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会
〔大阪府、大阪市、経済団体等、
(公財)関西・大阪 21 世紀協会(事務局)〕
実施時期 平成 29 年 7 月～11 月

イ. 平成 OSAKA 天の川伝説 2017（公益目的事業 1）

八軒家浜界限に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く 「平成 OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として定着した。

水上安全協会をはじめとした関係者とのコラボレーションをいっそう強化し、当協会は連携の結節点としてまちづくり推進の役割を果たす。

主 催 (一社)おしてるなにわ
共 催 (公財)関西・大阪 21 世紀協会
実施時期 平成 29 年 7 月 7 日

ウ. 「大阪芸術文化フェス 2017 キックオフ公演」(公益目的事業 1)

昨年大変好評であった「能」と「交響楽」のコラボレーションをさらに進化させるとともに、beyond2020 プログラムに基づく「大阪文化芸術フェス 2017」の初頭を飾る催事として、関西・大阪の文化を世界に発信する。

実 施 日 平成 29 年 10 月 2 日 (月)
主 催 (公財)関西・大阪 21 世紀協会
共 催 大阪文化フェスティバル実行委員会
〔大阪府、(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、
(一社)関西経済同友会、(公財)大阪観光局、
(公財)関西・大阪 21 世紀協会〕
場 所 NHK大阪ホール

エ. インターナショナルワークショップフェスティバル「DOORS」(公益目的事業1)

市井に埋もれたアーティストや作家を発掘し、大阪の伝統芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン(500円)で参加できる体験型ワークショップを集中開催し、大阪まちおこしの一助とする。

11回目を迎える今年度は、DOORSのアーカイブサイトを立ち上げ、これまで蓄積したデータベースと開催ノウハウの活用を図る。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会

(大阪市、LLPアートサポート、
(公財)関西・大阪21世紀協会)

実施時期 平成29年7月～8月

オ. 広域連携支援／「北前船寄港地フォーラム」の支援(公益目的事業1)

地方創生への貢献を目的とする「北前船寄港地フォーラム」の大阪開催実績とこれまで当協会に蓄積された運営ノウハウを活用し、本年5月の兵庫県淡路島など西日本での開催に対し、開催地の運営支援を行う。

併せて、ネットワークの維持、強化のために本年開催のフォーラムにも参加する。

支援期間 通年

フォーラム実施時期 5月、7月、9月、11月

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として、当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるよう工夫する。

上方伝統行事については、記録映像をライブラリー化し、協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

A. 「日本の文化に親しむ」の公演等

1) 上方の伝統芸能の開催

2) 上方文化を味わう

B. 季刊雑誌「やそしま」の発行

C. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事への共催・協賛

A. 今宮戎神社宝恵駕行事[無形民俗文化財](平成30年1月10日)協賛

B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財](平成29年6月14日)共催